

2021年11月16日

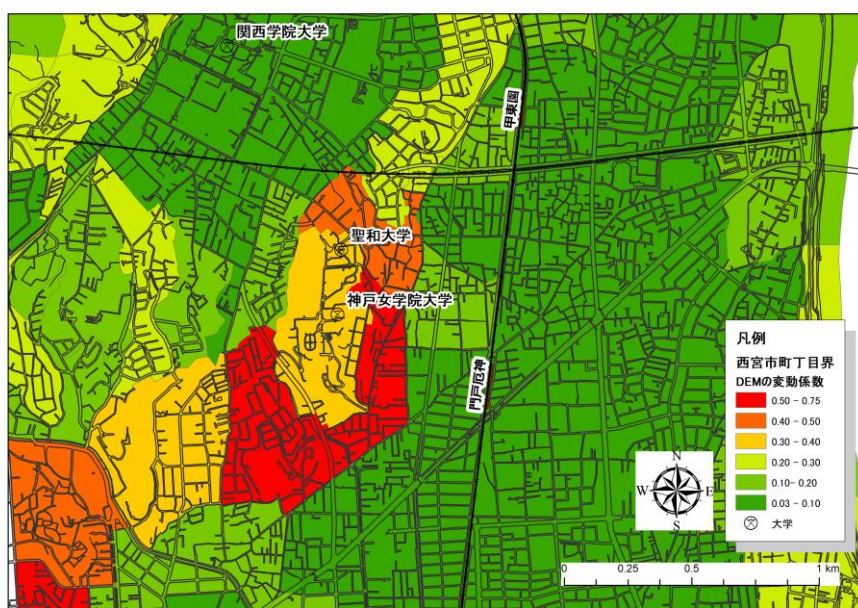
東急不動産株式会社

～マイクロレベルでの地域の価値を可視化～

兵庫県立大学と地域価値可視化の共創研究を開始

“サステナブルなまちづくりを考える指標づくりを推進”

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：岡田 正志）は、兵庫県立大学（所在地：兵庫県神戸市、学長：太田 勲）の応用情報科学研究科・社会情報学部川向 肇准教授の研究室との共創で、生活者にとって重要な町丁目レベルで地域の価値を可視化する共同研究を始めましたのでお知らせいたします。市町村内の各土地について、どのような施設の開発に向いているかなどを町丁目レベルで細かく分析、可視化できるようにすることで、その地域での開発を最適化し、サステナブルなまちづくりを推進できるような指標づくりに向け、研究を進めて参ります。東急不動産にとっては、従来の「駅からの距離」「周辺の開発状況」などの長年蓄積してきたノウハウに加え、科学的な知見で土地の仕入れや開発を最適化できるようになることが期待されます。



参考例) 西宮市近辺の土地の分析
(色が赤い地域は斜面が多く、緑は平たん)

■ 具体的な研究内容

国・自治体提供の各種データ、施設関連のオープンデータ及び民間事業者が公開している施設の評価データなどを活用し、町丁目レベルでの地域資源とそれが生み出す価値を可視化することにより、地域の魅力・地域ニーズ・地域課題等を抽出します。さらにこれらの知見を各種事業・プロジェクトに活かすことで、地域の価値の一層の向上を通じ、サステナブルなまちづくりの推進に貢献できると考えております。一方、地域価値の

可視化の状態を関係者間で情報共有することで、街づくりや地域の活性化に関与する人たちの共創意識を高め、地域の発展へとつなげて参ります。

今回は研究対象を西宮市の学生マンション開発予定物件(※1)周辺地域としました。若者ニーズの分析から地域の可視化に取り組み、地域価値から計画を最適化できるよう、プロジェクトを推進しております。

(※1)研究対象データ提供

キャンパスヴィレッジ西宮門戸厄神 <https://749.jp/cd/4631/>

キャンパスヴィレッジ西宮甲東園 <https://749.jp/cd/4632/>

この研究は、東京大学空間情報科学研究センター（CSIS：空間情報科学研究センター）2021年11月19日（金）～20日（土）に開催される年次研究発表大会「CSIS DAYS 2021」にて発表を予定しております。

（発表セッション 11月20日午前中C3予定）

<https://www.csis.u-tokyo.ac.jp/blog/research/csis-days-2021/>

■長期ビジョン「GROUP VISION 2030」の取り組みテーマとSDGsの取り組み

東急不動産ホールディングスグループは、本年5月11日に長期ビジョン「GROUP VISION 2030」を発表しました。「WE ARE GREEN」をスローガンに、誰もが自分らしく、いきいきと輝ける未来を実現します。価値を創造し続ける企業グループをめざして、重視する社会課題から抽出した6つのテーマに取り組み、SDGsの達成に貢献していきます。

本リリースにおける取り組みテーマ（マテリアリティ）

ウェルビーイングな街と暮らしをつくる

サステナブルな環境をつくる

デジタル時代の価値をつくる

貢献するSDGs



東急不動産ホールディングスグループ「GROUP VISION 2030」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/group-vision-2030/>